

2025 年 5 月 12 日

卒業生へのアンケート

学長室
教務委員会

この調査は、2024 年度秋学期に卒業した学生に対して実施したものである。実施期間、回答数については以下のとおりである。

実施期間：2024 年 10 月 17 日から 2025 年 3 月 20 日

回答数：367 名

回答率：67.2%(367÷546 名)

図 1 大学への満足度

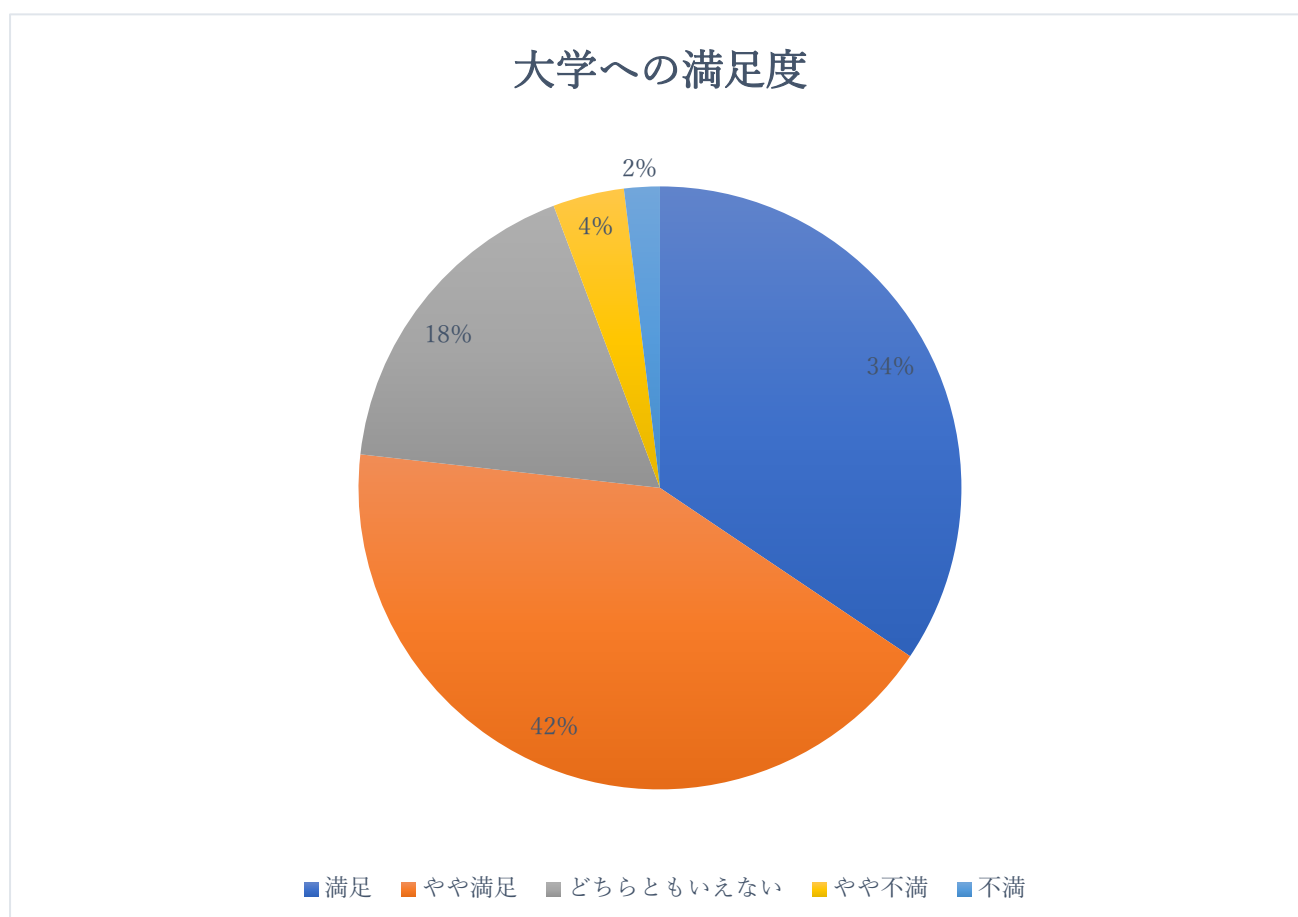
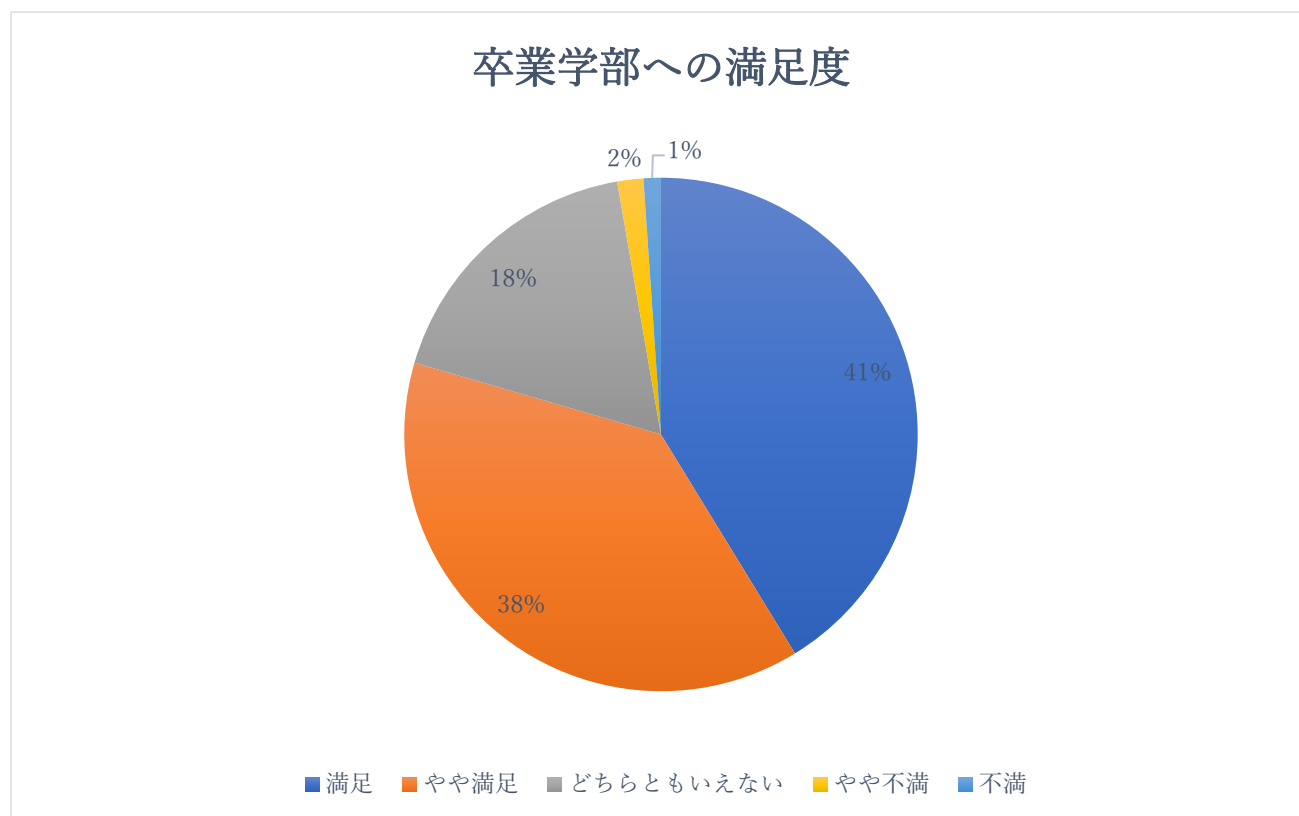


図 2 卒業学部への満足度



以下は、複数選択で質問した内容となる。

図 3 大学の授業など身につけた力

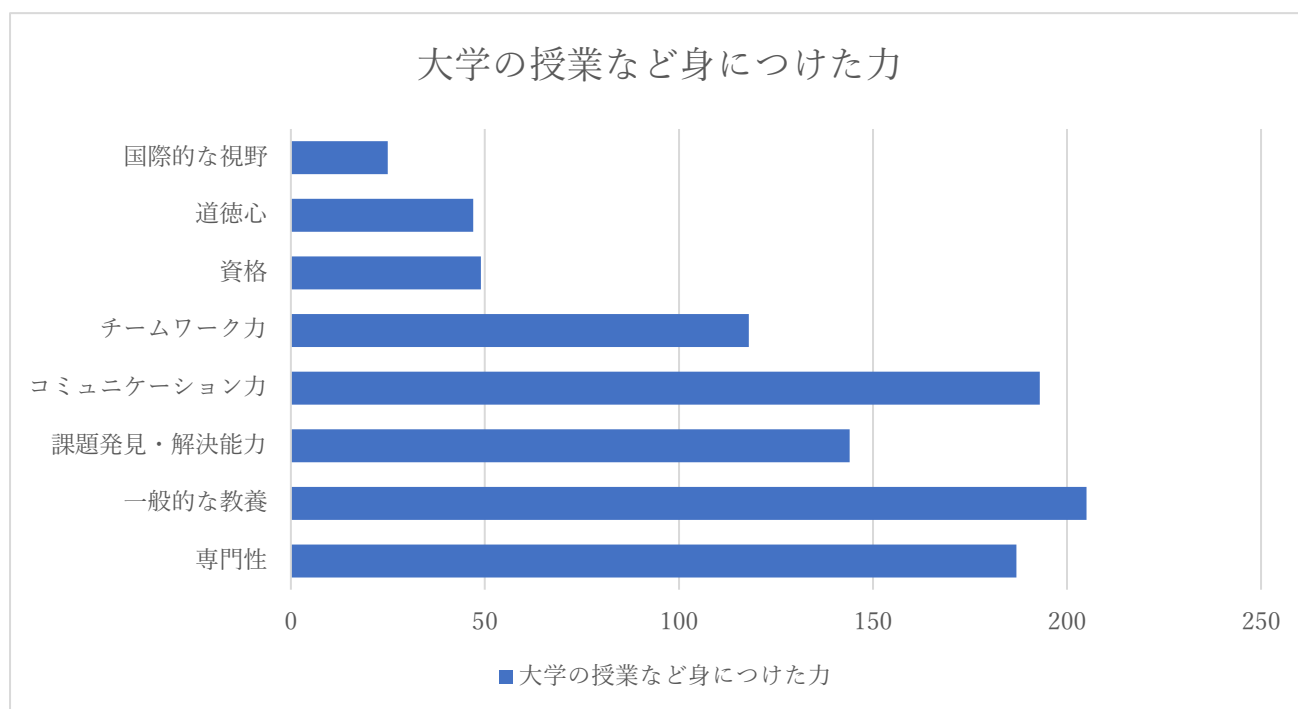
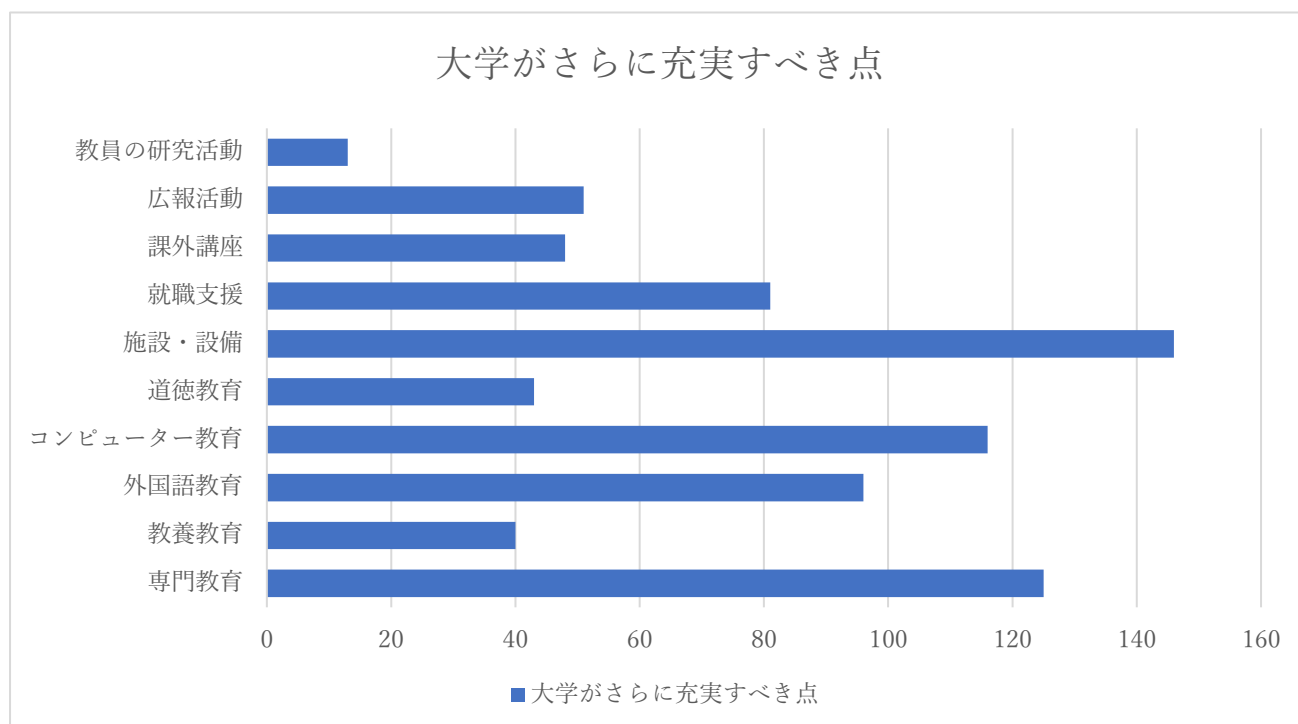


図 4 大学がさらに充実すべき点



総評：

本アンケート（卒業時アンケート）は、2024 年度秋学期卒業生 546 名のうち 367 名（回答率 67.2%）から回答を得たものである。回収率から卒業生が持つ高千穂大学への関心および今後に対する期待が示されているといえることができる。

1. 大学・学部への満足度

図 1・図 2 にて示されている通り、大学全体および所属学部に対する満足度は概ね高い傾向が示されている。多くの卒業生が「おおむね満足」「満足」と回答しており、在学中の学びや大学生活に対して肯定的に捉えている学生が多数を占めている。特に所属学部への満足度が高いのは、商学部・経営学部・人間科学部、それぞれの学部での学びが充実していたことを示唆している。

2. 大学で身に着けたことについて

複数形式で回答してもらっている項目である。本学卒業生が最も身につけたと感じている力としては、「一般的な教養」「専門性」「コミュニケーション力」が高く、バランスよく基礎・専門・対人能力が育まれていることが確認できる。

3. 大学にさらなる充実を求めている点について

「施設・設備」「コンピューター教育」「外国語教育」「就職支援」に対する要望が多い。これは将来のキャリア形成に直結する環境・支援の強化が求められている。教員の研究活動や広報活動への期待も一定数見られることから、高千穂大学の対外的な発信力や社会的役割を期待していることがうかがえる。

以上